

鹿児島県のお産をまもろう 第3弾

～助産師として、キャリアを積み上げるために～

10月3日 助産師職能委員会

43名(うち学生13名)が参加

プログラム

<午前>

県内各地で活躍されている5名の講師の方々が、自己のキャリアアップについて

- ・助産師職能委員長でもある鹿児島大学医学部保健学科 教授 吉留厚子
- ・鹿児島大学附属病院 副看護師長 鎌賀愛
- ・愛育病院 副看護部長 片平久美子
- ・鹿児島大学医学部保健学科 講師 井上尚美
- ・鹿屋医療センター 副師長 野元美穂

<午後>

2施設におけるClocMipの取り組みについて

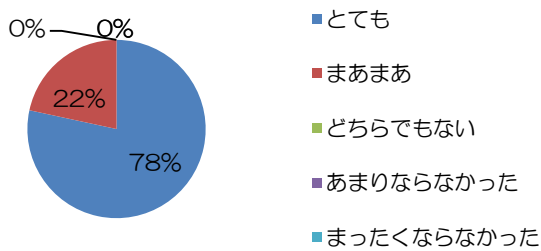
- ・鹿児島市立病院 副総看護部長 園田良子
- ・鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 看護部長 向窪世知子

各講義の後、参加者を7Gに分け「理想のキャリアアップ」についてグループワーク。

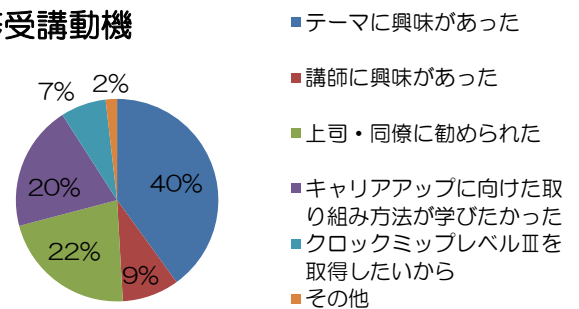
理想とあって各グループ活発な意見がでていました。



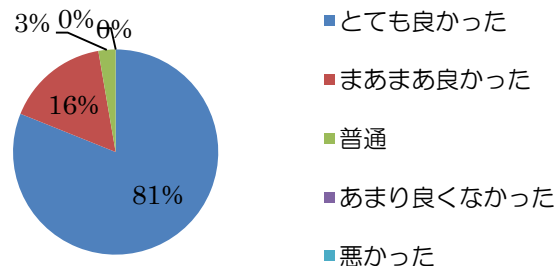
研修を受講し自己のキャリアを考えるきっかけになったか



研修受講動機



キャリアパスの講義



今回は、助産師学生や勤務10年未満の助産師が多く参加さ

れました。若い助産師が多く、今回の研修で、各自がキャリアを描く良い機会になったとの感想が多くありました。助産師として就職から定年退職後も視野に入れたキャリアを考えるきっかけになったのではないのでしょうか。一生助産師として頑張りましょう。

「アドバンス助産師の会をつくってほしい」「今後の事を考え、鹿児島のお産について知るととても良い機会になった」との意見もあり、助産師研修の目的である、鹿児島のお産を守ろうという助産師職能委員の思いが伝わっていると感じました。